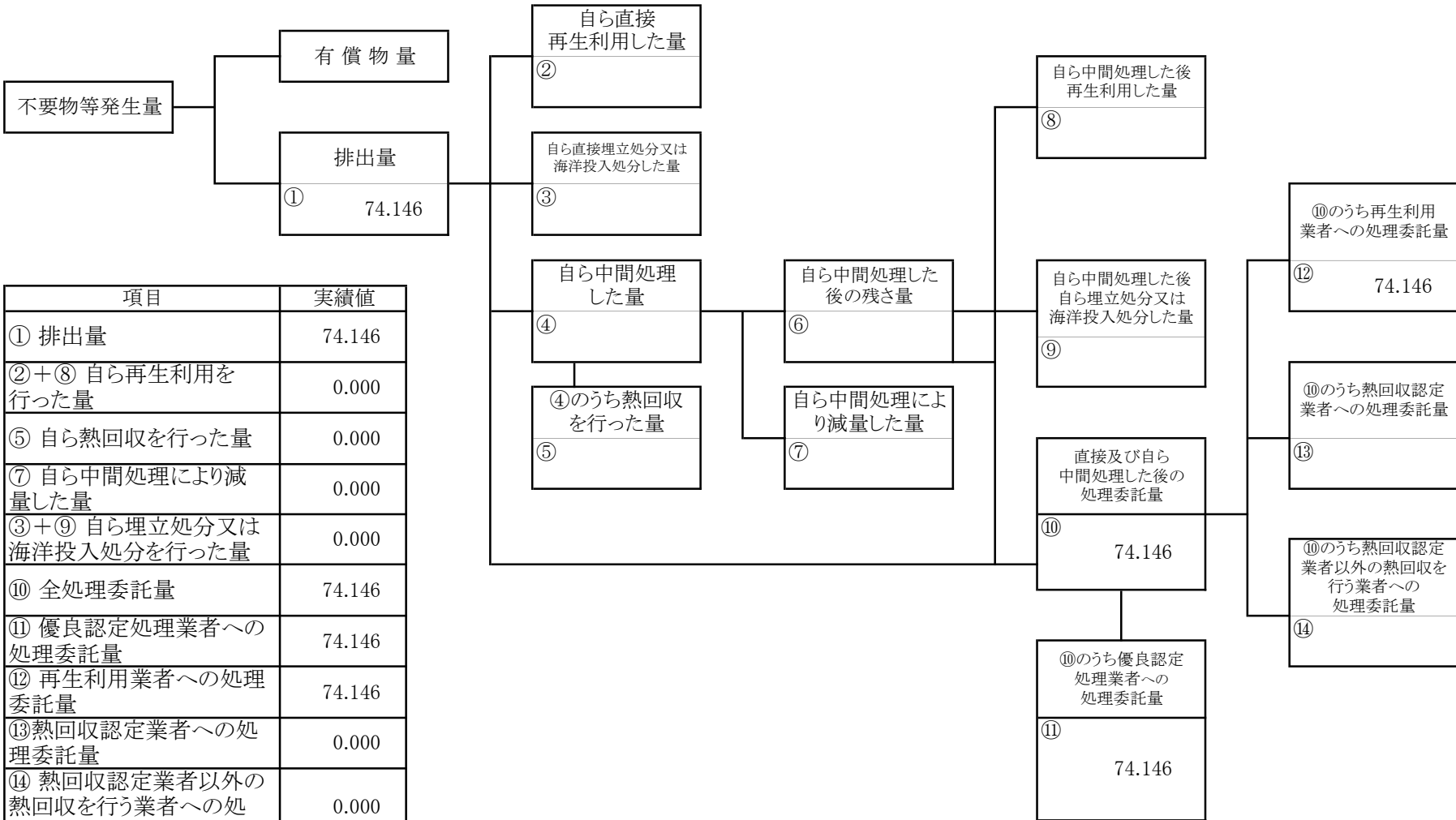


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和5年6月29日			
熊本市 (市長)大西 一史 殿		提出者 住友林業株式会社住宅事業本部 熊本支店 住 所 熊本市南区馬渡1丁目9-8 氏 名 熊本支店長 福重 正一郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 096-370-5500	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 熊本支店		
事業場の所在地	熊本市南区馬渡1丁目9-8		
事業の種類	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
産業廃棄物処理計画における計画期間	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,457.375 t	全処理委託量	1,457.375 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	582.370 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,160.980 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

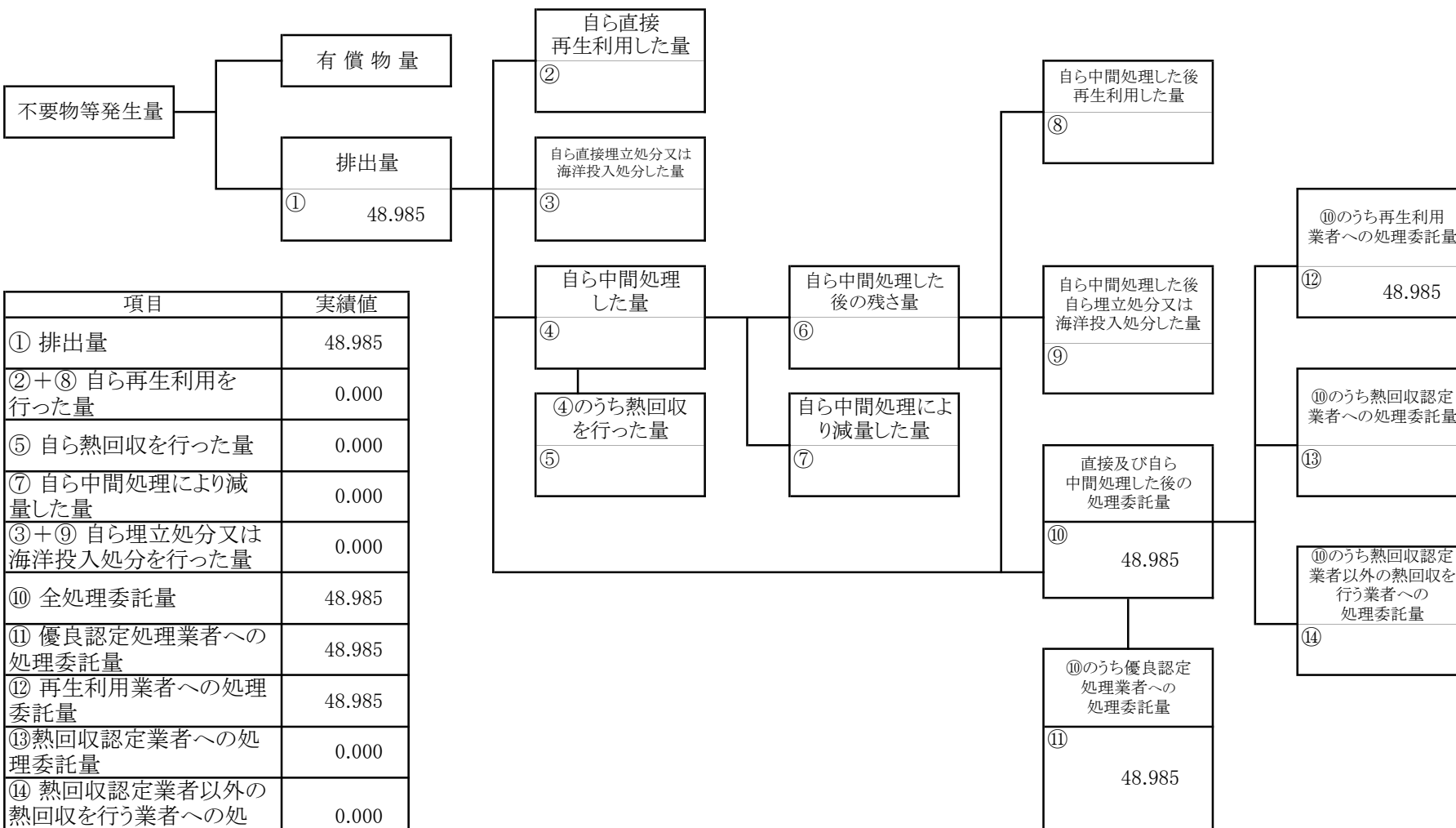
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)



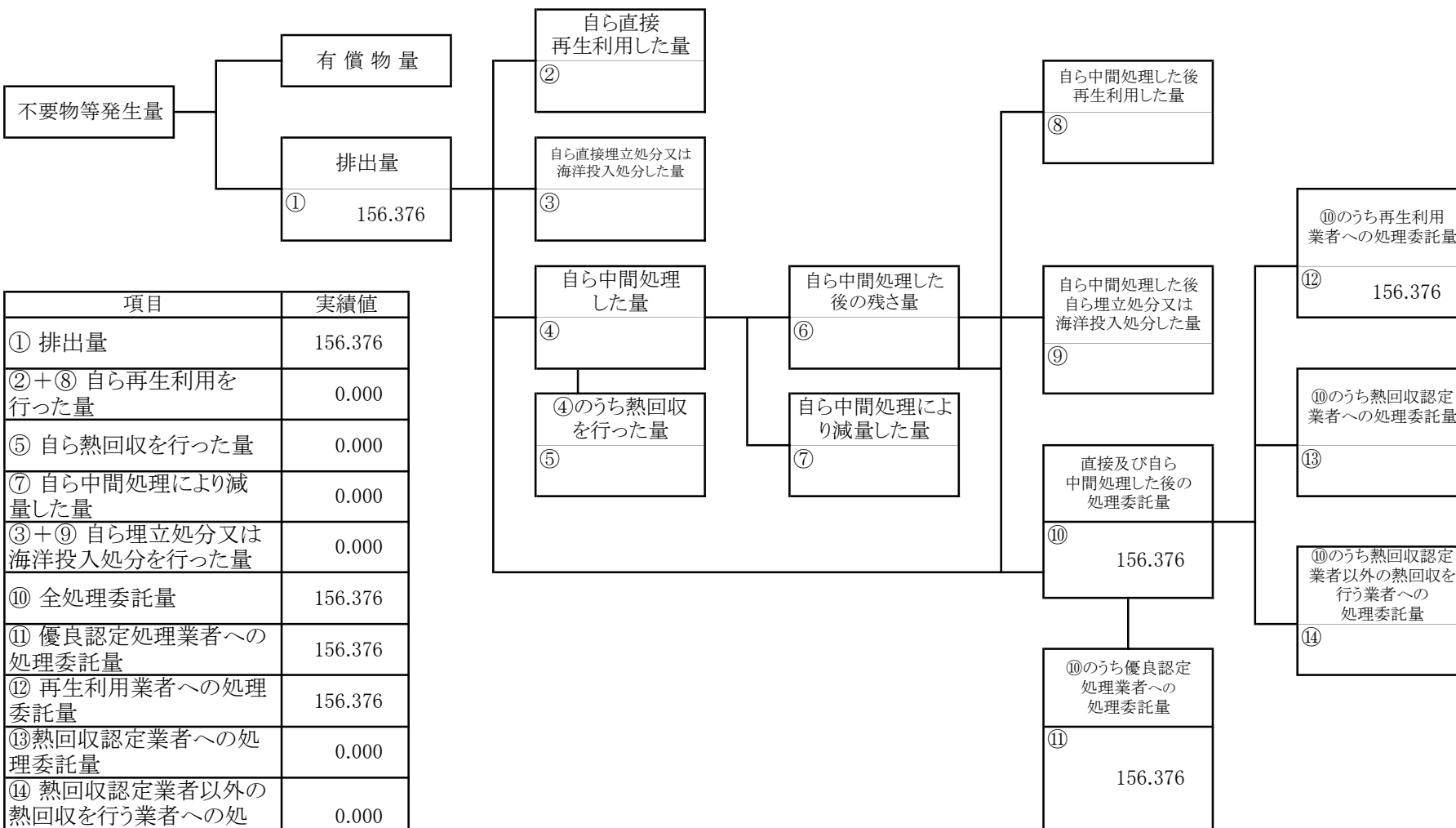
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず)



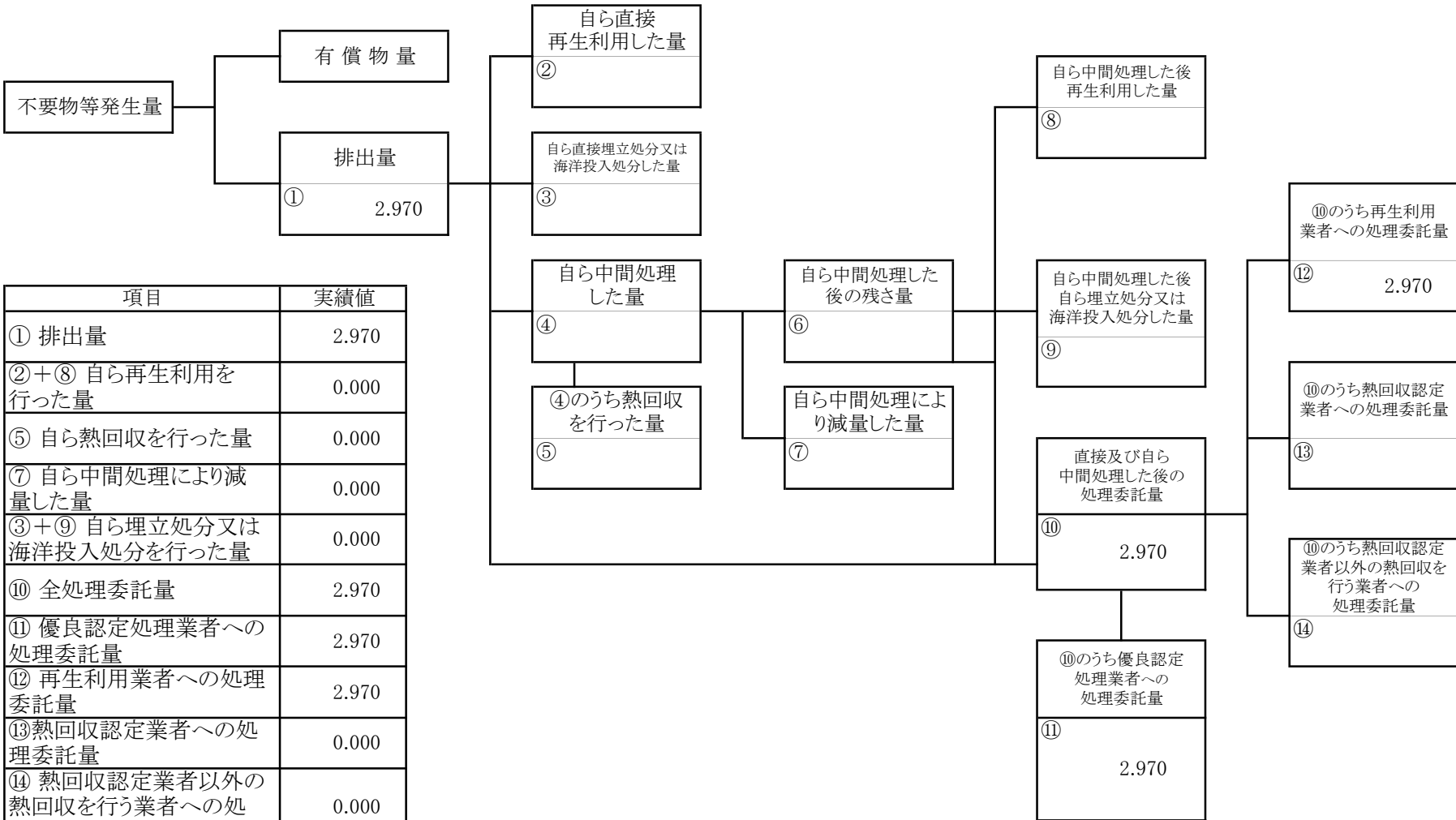
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



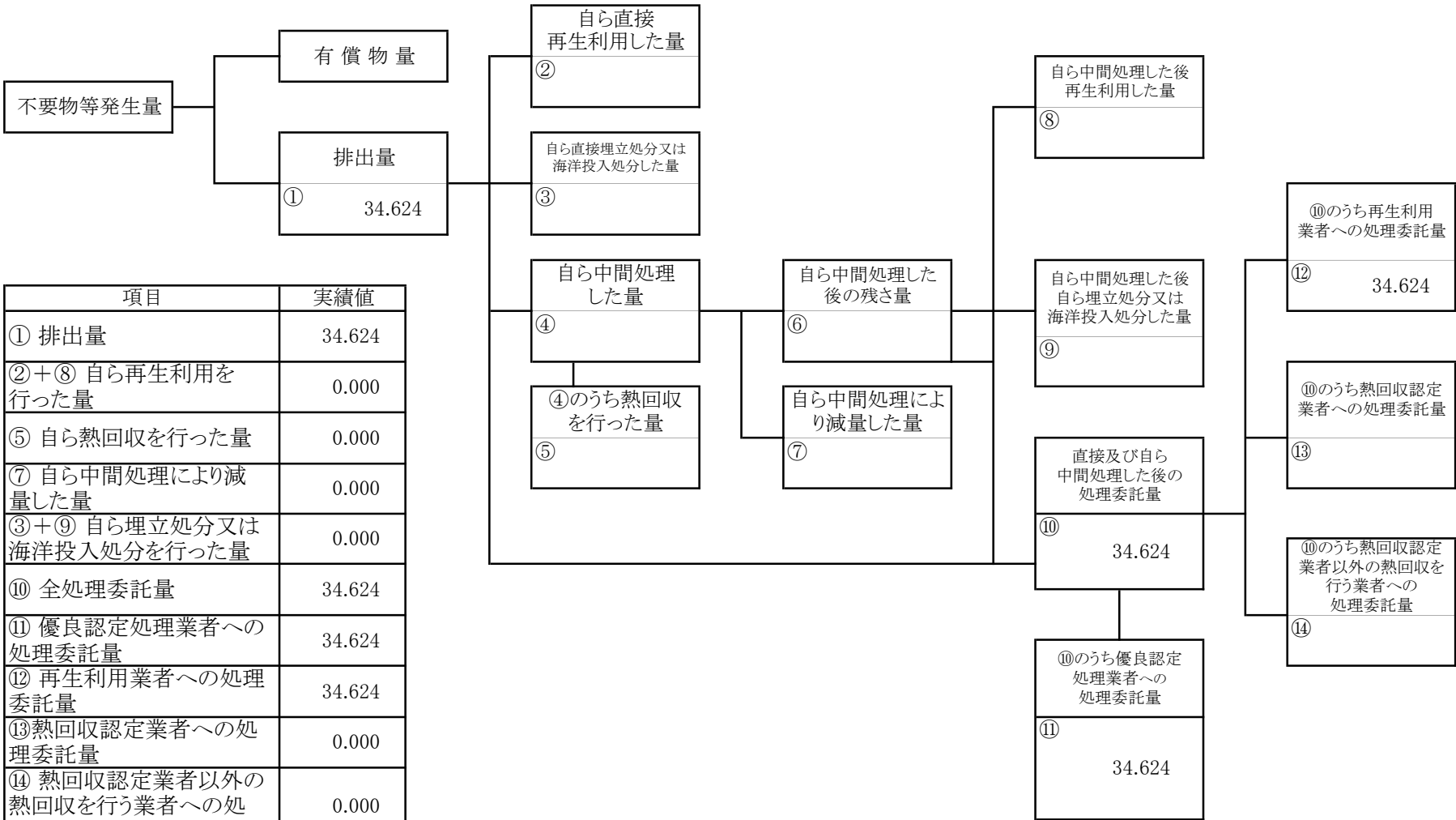
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 繊維くず)



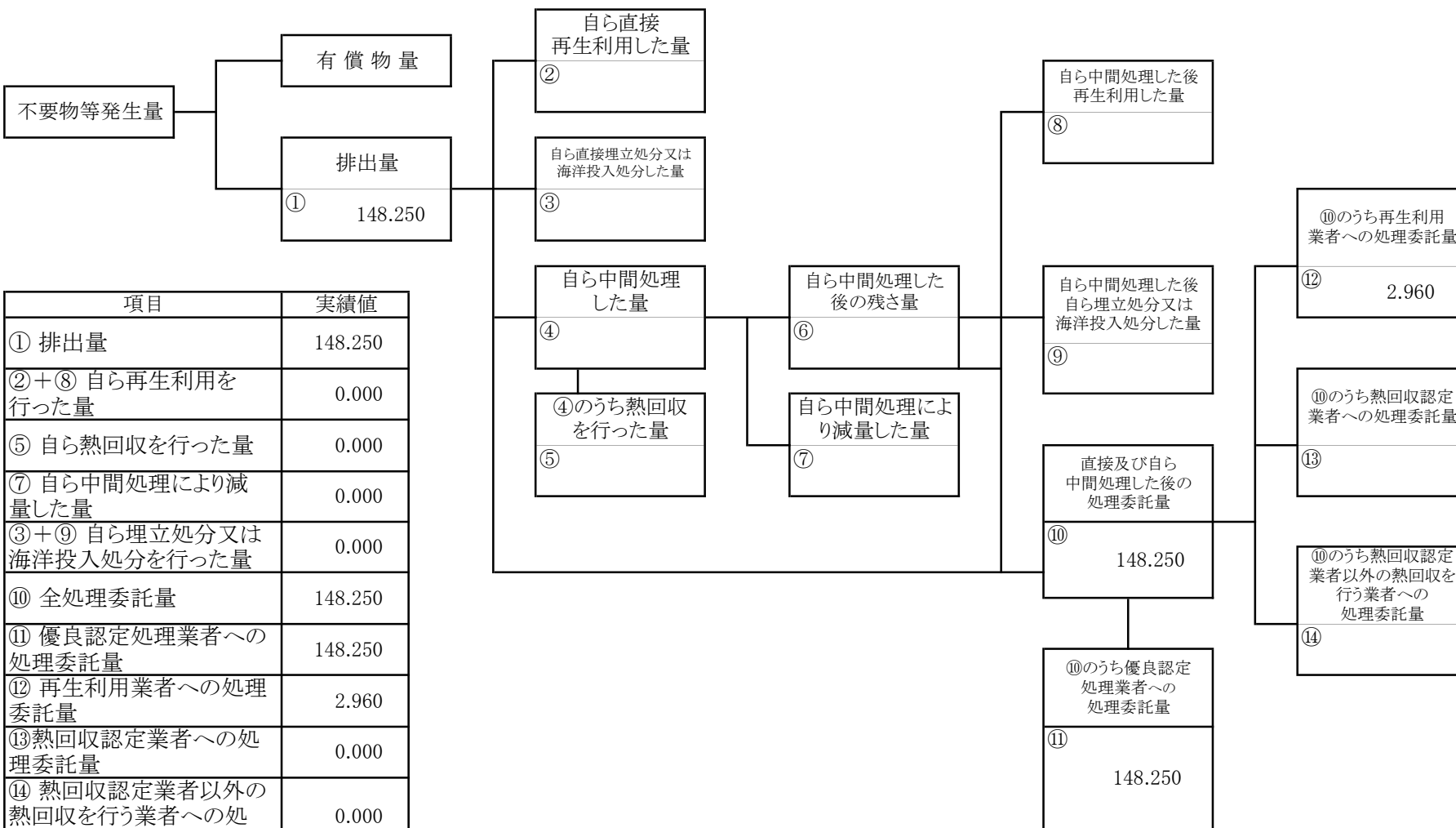
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



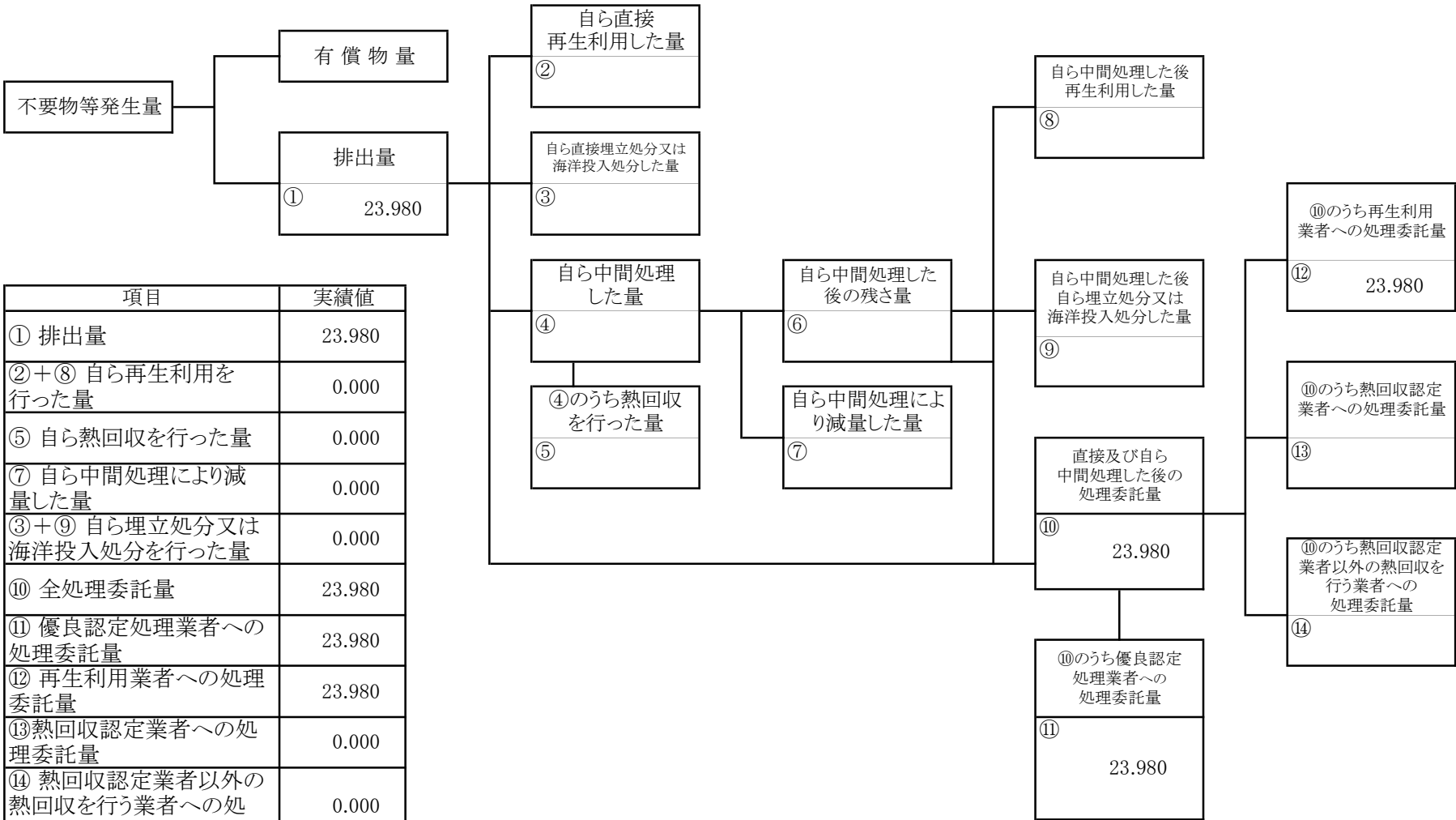
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器くず)



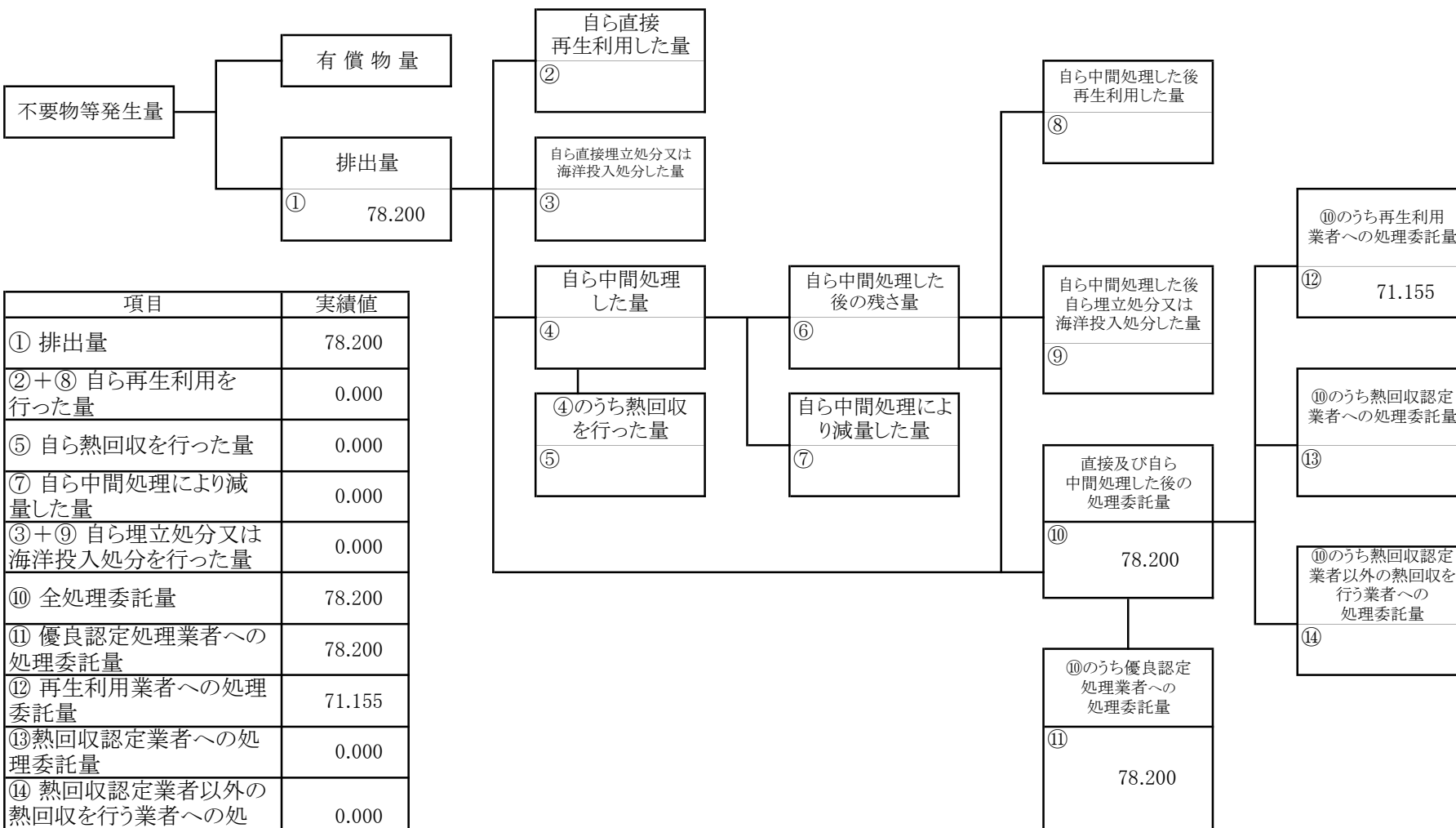
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： グラスウール)



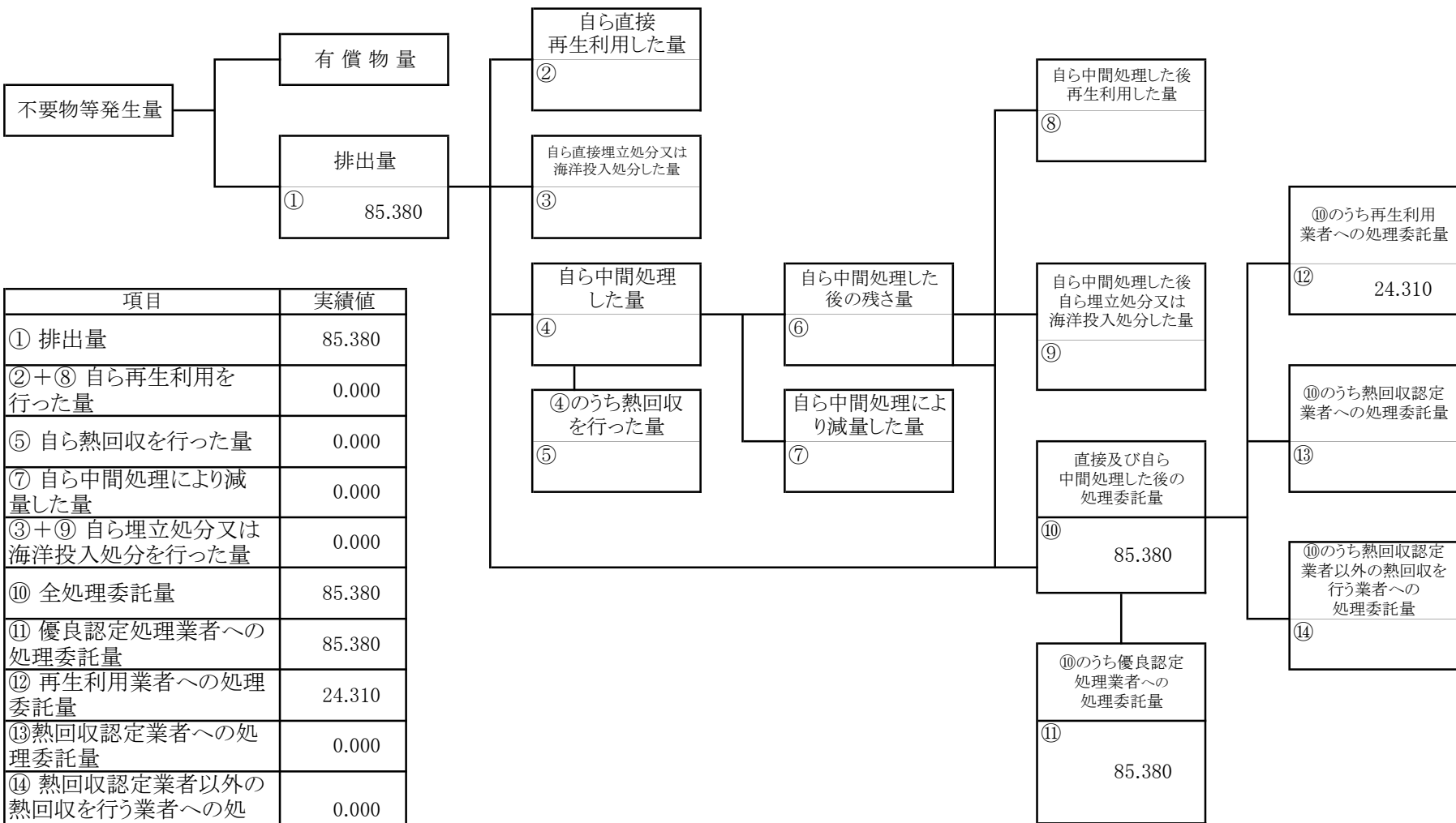
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石膏ボード)



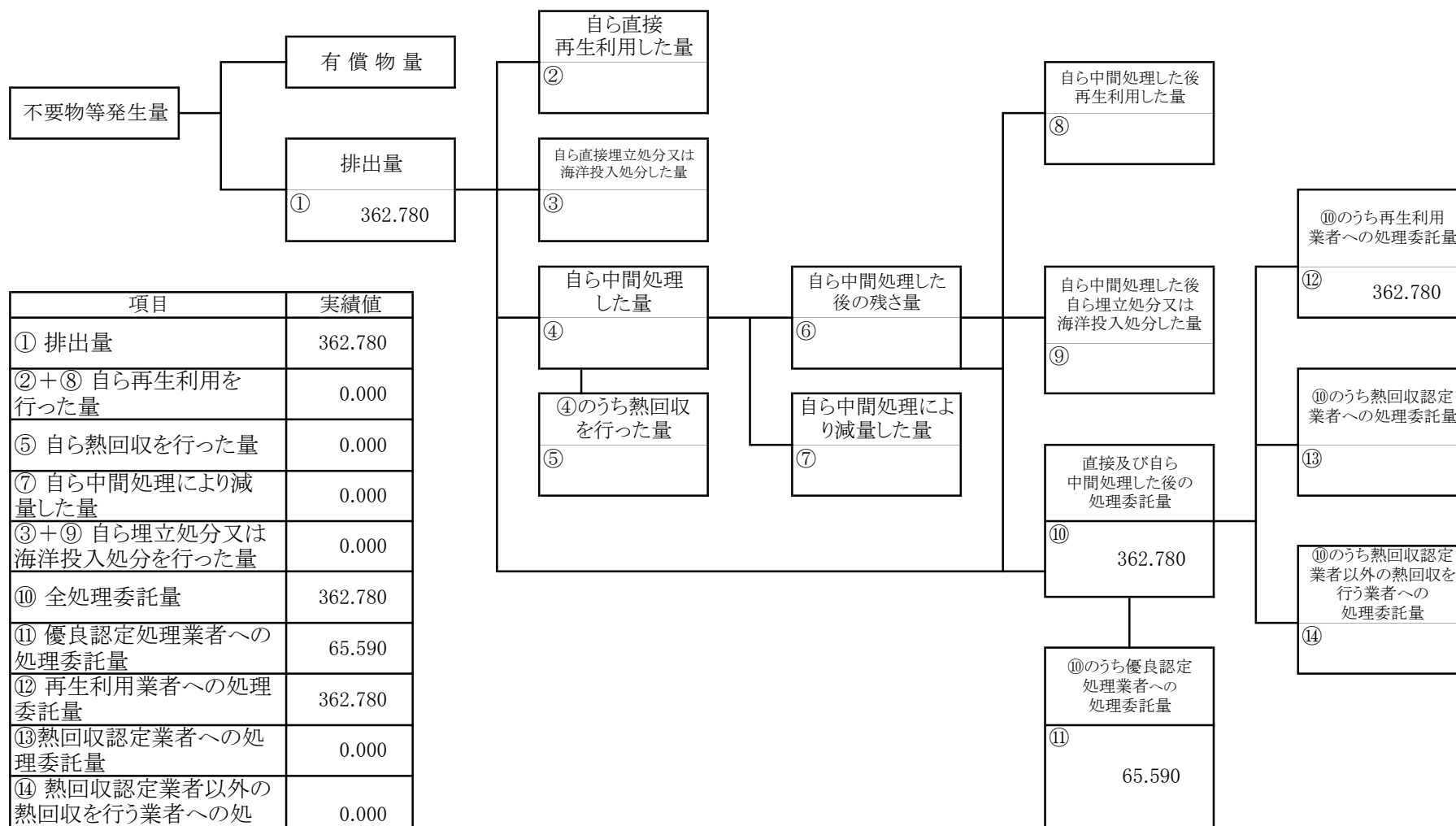
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき)



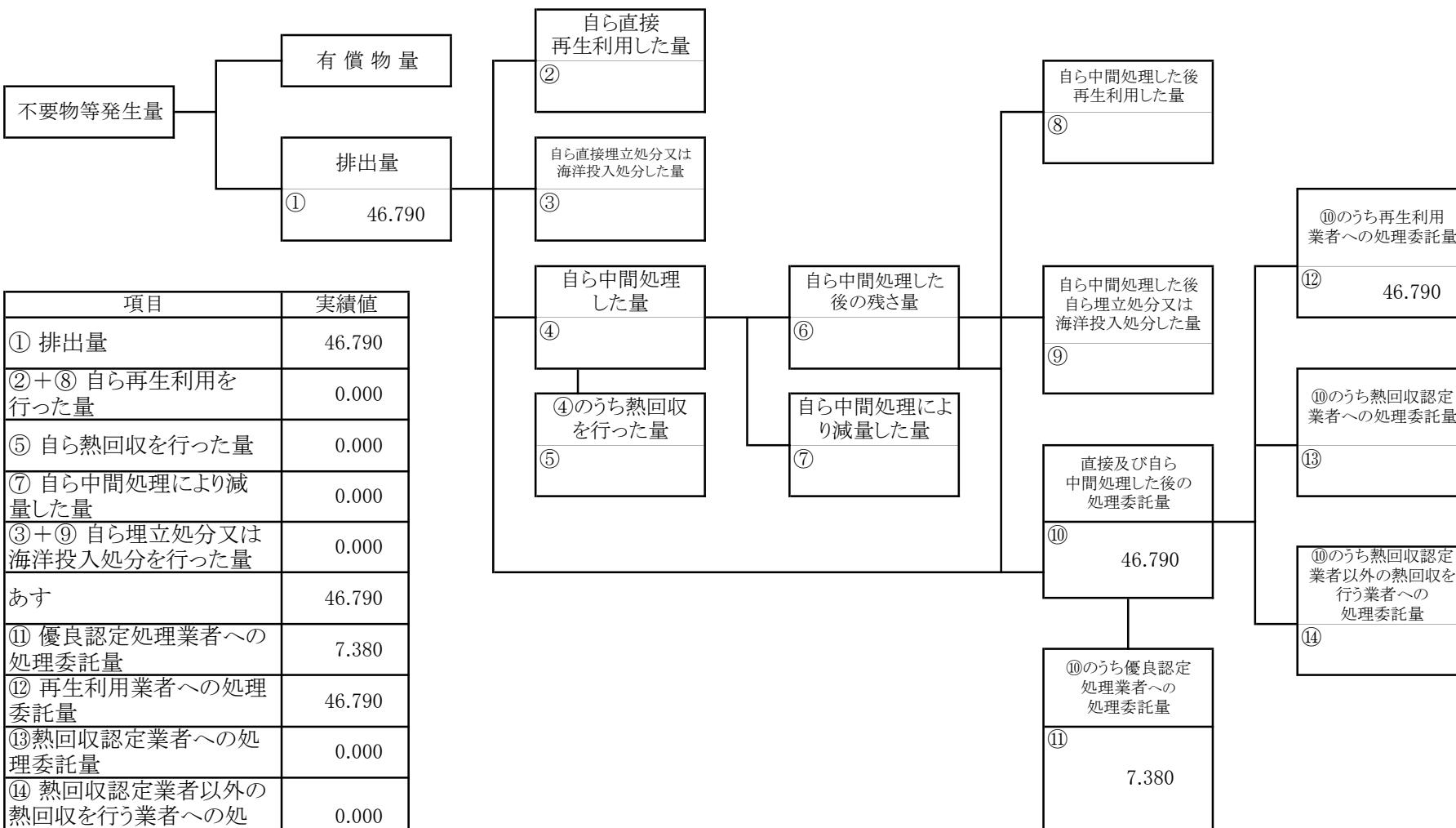
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： コンクリート破片)



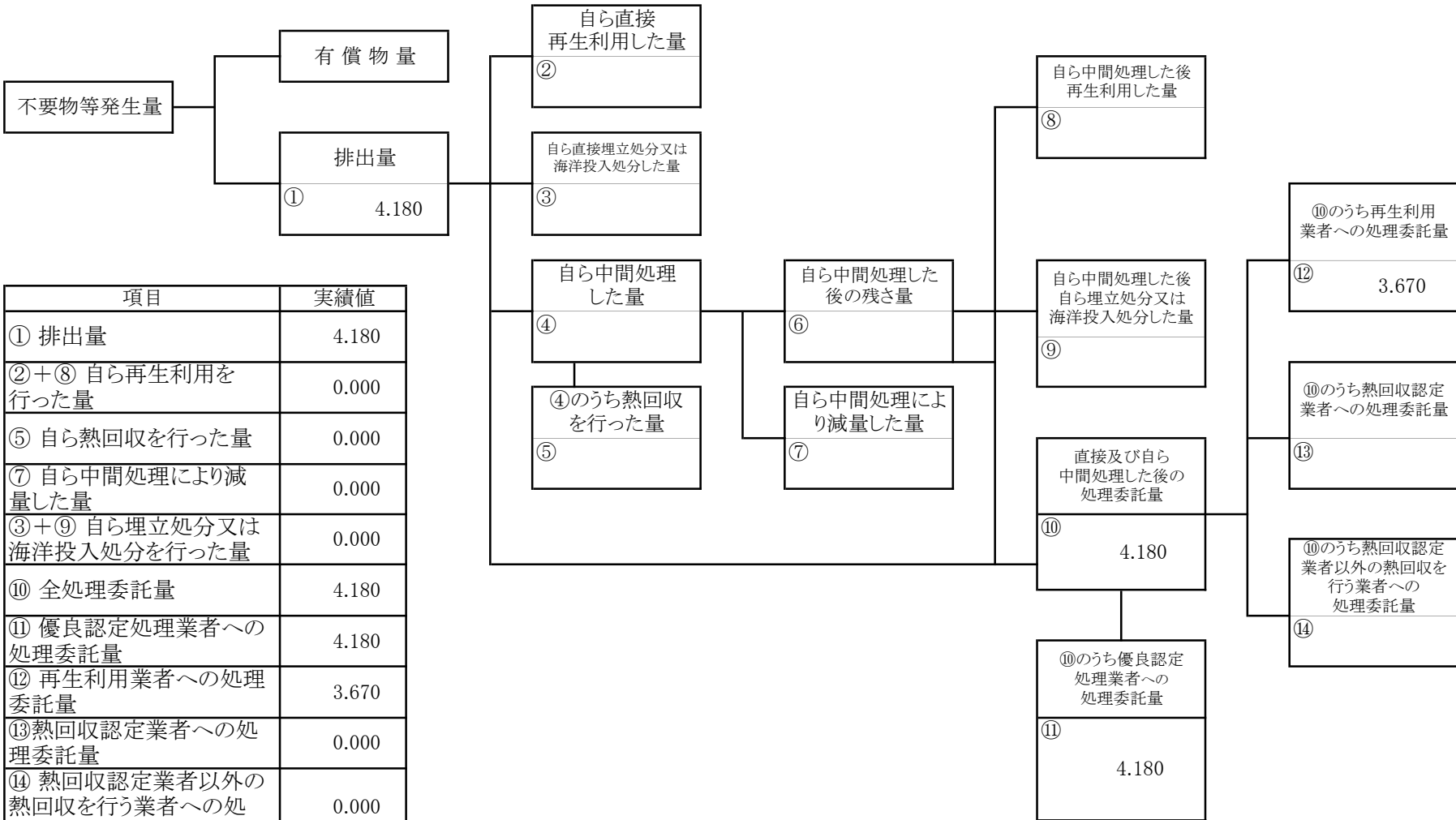
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスファルト・コンクリート)



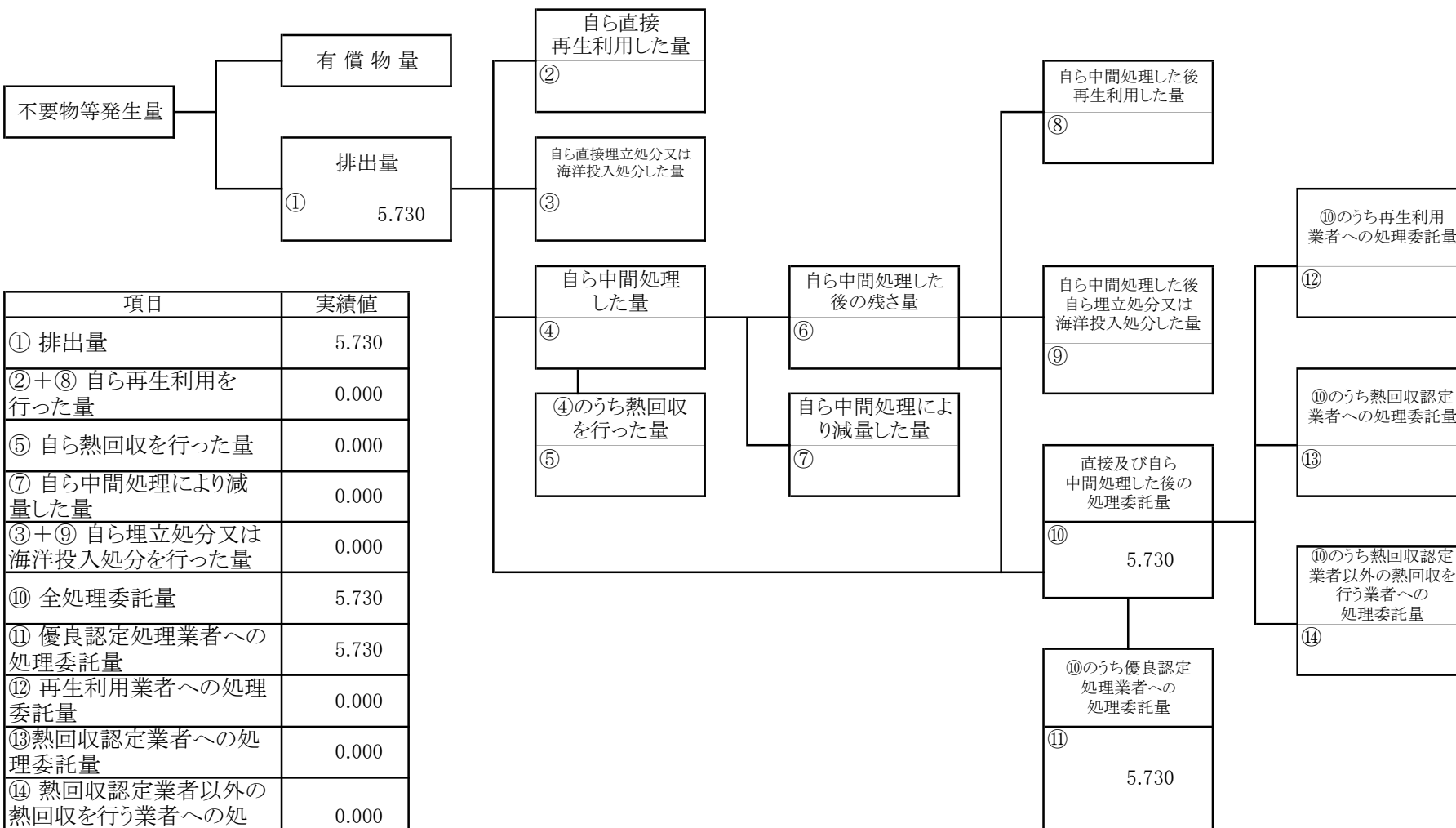
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有建材)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書内訳(前年度(令和 4 年度)実績)

別紙

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
廃プラスチック	74.146									74.146	74.146	74.146		
紙くず	48.985									48.985	48.985	48.985		
木くず	156.376									156.376	156.376	156.376		
繊維くず	2.970									2.970	2.970	2.970		
金属くず	34.624									34.624	34.624	34.624		
ガラス陶磁器くず	148.250									148.250	148.250	2.960		
グラスウール	23.980									23.980	23.980	23.980		
石膏ボード	78.200									78.200	78.200	71.155		
がれき	85.380									85.380	85.380	24.310		
コンクリート破片	362.780									362.780	65.590	362.780		
アスファルト・コンクリート	46.790									46.790	7.380	46.790		
管理型混合廃棄物	4.180									4.180	4.180	3.670		
石綿含有建材	5.730									5.730	5.730	0.000		
合 計	1,072.391									1,072.391	735.791	852.746		